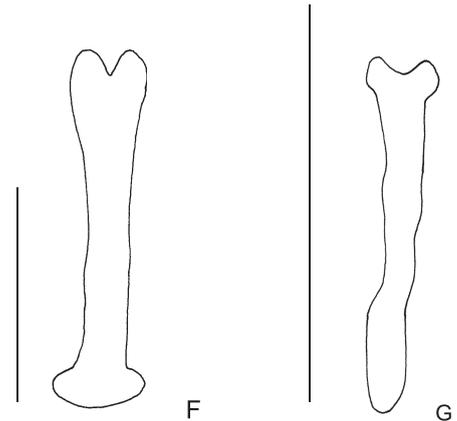


# ハダニタマバエ *Feltiella acarisuga* の形態学的特徴および 日本における分布と捕食対象ハダニ類, 生活史特性

(本文 1 ページ参照)



A: カンザワハダニを捕食するハダニタマバエの老熟幼虫, B: ナミハダニ (黄緑型) を捕食するハダニタマバエの老熟幼虫, C: ハダニタマバエの繭, D: ワタアブラムシを捕食するショクガタマバエの老熟幼虫, E: *Mycodiplosis* sp. の老熟幼虫, F: ショクガタマバエの幼虫の胸骨, G: *Mycodiplosis* 属の幼虫の胸骨。F および G のスケールラインは 0.1mm を表す。

## 京都府におけるプラタナスグンバイの発生生態と殺虫剤感受性

(本文 11 ページ参照)



①プラタナスグンバイ成虫



②プラタナスグンバイの加害で  
葉が白化したプラタナス

徳丸 晋氏原図

## 広島県におけるアワダチソウグンバイ (*Corythucha marmorata* (Uhler)) の地理的分布

(本文 15 ページ参照)



①アワダチソウグンバイ成幼虫



②アワダチソウグンバイが寄生するアワダ  
チソウ

星野 滋氏原図

## 水稲疎植栽培がいもち病の発生に及ぼす影響

(本文 25 ページ参照)



2007年6月28日  
左：株間30cm、右：株間15cm



2007年7月19日  
左：株間30cm、右：株間15cm  
山田真孝氏原図